



南山城学園 × 私の個性

みんなで
よさこいの
決めポーズ

障害者支援施設「光」
生活支援員
そわせい か
曾和 聖香さん

障害者支援施設「光」
生活支援員
と な み
戸波 ほのかさん

今回の訪問者

立命館大学
産業社会学部
人間福祉専攻3年
ゆあさ
湯浅さん

京都橋大学
健康科学部
作業療法学科3年
ふちた
瀧田さん

想像超えの 福祉法人 vol.4

高齢者、障害者、児童の福祉サービスを提供する社会福祉法人・南山城学園。福祉の世界で働く人は、どのように「自分の個性」「強みや得意なこと」を發揮しているのか。学生2人が聞いた。

自分の個性を活かして 利用者さんを笑顔に

今回訪問したのは、福祉業界を志望する学生・瀧田さんと湯浅さんだ。学生たちが知りたいのは、「日々の仕事に、自分の個性は活かせるか？」ということ。答えてくれたのは、ともに入職7年目、30歳の若手職員、曾和聖香さんと戸波ほのかさん。「職員の個性は活かせませす！」と2人は口を揃える。

自分の個性として「踊ることが好き」を挙げた曾和さん。学生時代から「よさこい踊り」に情熱を傾けてきた。その経験を活かして、昨秋、南山城学園内のホールで「よさこい祭り」を企画・開催した。利用者さんが踊りやすい振付を考え、職員も利用者さんも一緒に鳴子を打ち鳴らし、みんなで踊った。利用者さんたちは、それまで見せたことのない表情と身体の動きで喜びを表現してくれたという。

一方の戸波さんが好きなのは料理だ。利用者さんは普段は給食を摂るだけで、自分で料理をする機会はない。そこで安全に配慮しながら、年末に利用者さんとともに飲食店のような料理をつくって提供する「居酒屋イベント」を企画、実施した。

「自閉症の方は、他者の気持ちを想像することが難しい特性があります。でも、だし巻き卵をつくった自閉症の方が『みんな、おいしい』と喜んでくれるかな」と他の利用者さんの気持ちを想像してくれたんです」と戸波さん。

まさに個性と仕事がつながるエピソードに、「私もダンスが好きです」「自分の個性を活かして働きたい！」と学生2人は顔を輝かせた。

複数の専門職が連携し、 チームで対応、改善

作業療法士を志す瀧田さんは「南山城学園では、職員の専門性を重視しますか？」と質問。戸波さんは「もちろんです。専門性は、利用者さんの支援に必要な力です」と答えた。南山城学園には作業療法士、言語聴覚士などの複数の専門職がいる。チームを組んで話し合い、支援の方針を決めている。



現場の声を直接聞き、学生たちの仕事へのイメージは広がった。

2人の個性



曾和 聖香さん

子どもの頃に社会福祉士の仕事を知り、龍谷大学に進む。イベントで障害のある学生と出会い、障害者支援に興味をもち入職。「大学時代によさこいサークルに入って熱中しました。いまま社会人のよさこいサークルに加入していて、東京や大阪へ遠征することもあります。南山城学園のお祭りのときは、社会人のよさこい仲間が盛り上げて来てくれました。好きと仕事がつながるのは楽しいです。来年もお祭りを企画します」。



戸波 ほのかさん

母が介護職で働き、自身も障害者支援に興味をもったのが入職のきっかけ。京都女子大学で介護・福祉を学んだ後、入職。「料理は食べる楽しさだけでなく、何をつくらうかと考え、完成させる過程とワクワク感がある。だから料理が好きです。利用者さんにも、水の冷たさや火の熱さ、立ち上る香り、食感の変化など、さまざまな体験をしてほしいと考えています。現在も食とつながりのあるイベントを企画中です」。



社会福祉法人 南山城学園

法人本部：城陽市長池五社ヶ谷14番地1
TEL:0774-54-7210
FAX:0774-54-2117
https://minamiyamashiro.com/
従業員数：約800名(2025年4月1日時点)
設立：1965年2月
主な事業内容：第一種・第二種社会福祉事業(障害・高齢・児童)、公益事業(診療所、研修事業)



JOB INFORMATION

正社員募集

「おっちゃんとおばちゃん」の求人広告を見ての応募です」とお伝えください。

- 文理不問
- 個性重視

【給与】250,000円(大卒・総合職・基本給) ※中途採用は職歴、学歴により異なります。
【昇給】年1回、賞与年2回
【諸手当】通勤手当、夜勤手当、住居手当、扶養手当
【勤務地】京都府城陽市・宇治市・京都市、大阪府島本町
【勤務時間】1か月単位の変形労働時間制(実働7時間30分)
【休日】週休2日制(年間120日)、年次有給休暇、特別有給休暇(慶弔休暇・結婚休暇・配偶者の出産休暇など)
【福利厚生】健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険、退職金制度、産休・育休制度(育休後、短時間勤務可)
【連絡先】法人本部事務局新卒採用担当(佐々木・田中)TEL0774-54-7210

新卒採用を目的とした広報活動は、その年の内閣府提示の日程に準じます(例・広報活動開始は卒業・修了年度に入る直前の3月1日以降)。「在学中のみなさんが今年生なのか」に応じて、時期によりお伝えすべき情報は変わります。詳細は人事部に直接お問合せください。



瀧田さん

湯浅さん

「利用者さんはいまよく言葉で説明できずに自傷行為をすることもあります。そんなとき、専門的な知識があると、原因が推測できることがあります」。一方、施設に実習にいった経験を、湯浅さんは振り返った。「一生懸命、よかれと思ってした行為が、相手にとって本当によかったのか確信が得られなくて、もどかしかったです」。それに対して曾和さんは「その気持ち、わかります。でも利用者さんに限らず、人間関係はすべてが思い通りにいくとは限りません。私も似た経験、ありますよ」とアドバイス。肩の力を抜くことも大切なのだと教えてくれた。

「私にできるのは、利用者さんが日々どう快適に過ごすかを考えて、それを支援させてもらうこと。それを追求する毎日、楽しいです」。一方の戸波さんはこう話す。「人は障害の有無に関わらず、生きていくだけでいい」と、仕事を通じて、心から思うようになりました。社会というものは、いろんな人が自分の強みや得意なことを活かして生きている。その一部に利用者さんも、自分もいるのです。

今回の訪問を通じて「福祉業界で働くイメージが湧いてきました」と2人。未来への一歩が見える訪問となった。